

資質・能力の育成に向けたデジタル教科書・一人一台端末活用事例

ガンジーについてのプレゼンや会話を聞いて内容を理解し、要約文を完成させよう。

<本単元で育成を目指す資質・能力>

- ・ガンジーの功績について聞いたり読んだりして概要を捉えることができる。
- ・紹介したい偉人を一人選び、紹介することができる。

<デジタル教科書・一人一台端末活用のポイント>

一人一台端末で生徒用デジタル教科書を用いることにより、各自のペースで繰り返し聞くことで、内容理解を助け、穴埋め形式の要約文作成にも主体的に取り組むことができる。

【本時】

目的・場面・状況の確認・語句の確認

デジタル教科書で各自のペースで
本文を聞く

要約文の穴埋め

全体で確認

単元名： Unit 5 A Legacy for Peace

内 容：

- ①教師用デジタルブックのピクチャーを用いて、ジョシュのプレゼンの場面であることと、ジョシュがガンジーを紹介していることを把握させる。
- ②新出語句は教師用デジタルブックを用いて全体で発音し、意味と音を理解する。
- ③生徒のタブレットからデジタル教科書を開かせ、**各自で聞き取りを行う。**
- ④指導者が準備した要約文は、聞き取った本文をそのまま書き写せばいいものと、前後の単語を少し変えて、その英文に合わせた形で再構成しなければならないものを混ぜて5問程度の問題にする。
- ⑤生徒は各自のペースで**聞き直しながら**、要約文を完成させる。(10分程度)
- ⑥最後に全体で解答を確認し、ガンジーについての要約文を完成させる。

考察：

- ・後置修飾を含んだ英文を何度も耳で聞くことで、日本語にはない後置修飾の感覚を磨くことができた。
- ・本文に含まれている単語を何度も聞き、語彙力を上げることもつながった。
- ・生徒が各々、内容を把握しづらい箇所に焦点を当てて聞くなど、各自の課題に応じた内容理解を促すことができた。

資質・能力の育成に向けたデジタル教科書・一人一台端末活用事例

“A Mother’s Lullaby” 音読発表会をしよう。

＜本単元で育成を目指す資質・能力＞
場面や登場人物の心情を読みとり、感情込めて音読することができる。

＜デジタル教科書・一人一台端末活用のポイント＞

生徒用デジタル教科書を活用することにより、各自の課題に応じて個別に何度も聞いたり読んだりしながら、評価規準を意識した効果的な練習ができる。

【本時】

課題の確認

本文の内容理解

音読練習

音読発表

単元名： Let’s Read 1 A Mother’s Lullaby

内 容：

- ①教師用デジタルブックを用いて、本文の内容理解を行う。
- ②活動の目的や音読で大切にしている視点を確認する。
- ③各自デジタル教科書を用いて練習を行う（家での練習も可能）。
- ④中間指導では、本文の内容にふさわしい音読や発音の難しいもの（th, r, など）の発音の仕方を全体で確認する。
- ⑤発表会では各班ごとに前に出て音読する。その間、聞いている生徒には評価シートを配り点数を付けてもらう。
- ⑥点数を合計し、結果を生徒に返す。

考察：

- ・教師の後に続き、全員で全文を読んで練習させるよりも、各自でデジタル教科書を活用して担当箇所を練習させることで、責任も伴うので集中力が増した。
- ・自分の端末で家でも練習することもできるので、はるかに発音を上達させて発表する生徒もいた。

資質・能力の育成に向けたデジタル教科書・一人一台端末活用事例

お世話になった人にお礼状を書こう

<本単元で育成を目指す資質・能力>

お世話になった人に感謝の気持ちを伝えるために、手紙を書くことができる。

<デジタル教科書・一人一台端末活用のポイント>

ロイロノートで英文の提出、フィードバックを行っているため、生徒全員分のフィードバックをすぐにモニターで全体共有することができる。

【本時】

海斗のお礼状を読み取る

個人でロイロノートにお礼状を書く

個人で作文しなければならない箇所を完成させて提出する

お礼状を添削したものをモニターで共有し一人ずつ発表する

単元名 : Let's Write 2 ホームステイのお礼状

内 容 :

- ①お世話になった人へのお礼状をロイロノートにタイピングで書きこんでいく。
- ②書きたい相手によって内容が変わり、教科書本文を引用して書く箇所と自分で作文する箇所が各々違うため、汎用性のある例文を生徒と共有する。また、作文できない生徒には個々に支援にあたる。
- ④タッチペンで生徒が提出したお礼状を添削し、訂正や評価を書きこんでいく。
- ⑤次の時間に、モニターに全員の作品を映し、一人ずつ紹介していく。
 - *ここでのポイントは、間違いの指摘ではなく、教科書本文を引用して書いていたり、自分で内容を工夫して書いていたりなど、相手に応じた内容を書いている文を評価する。
 - *英文を書くことが苦手な生徒のお礼状の中からも全体で共有したいものを選び共有し、「書く活動」に自信をつけるきっかけにする。

考察 :

- ・ロイロノートは全員の英文（作品）を一度に全員で共有できるので、他者の表現方法や思い、考え、意見などを参考に、自分を表現することができ、英語を学ぶ意欲にもつながるので、授業の7割で活用している。